

24 114
619

平成24年12月18日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会

会長 沖田 光弘



要 望 書

田中市長におかれましては、この度の市長選挙におきまして、2期目の当選を果たされましたことに、心からお祝いを申し上げます。引き続き、南砺市の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

市長の市政運営の基本方針は、「市民が主役の市政」「常に市民目線にたった市政運営」「市民と行政の協働によるまちづくり」であり、積極的に地域に出向き、我々市民との対話の中で市政運営をいただいておりますことに、自治振興会をお預かりしている当連合会といたしましては、大変に心強く感じております。

さて、近年の少子高齢化の急激な進行と、それにとまなう定住人口の減少は、自治会とその取りまとめを行う自治振興会の根幹を揺るがす事態となりつつあります。特に中山間地では高齢化率が50%を超える集落が急増しており、地域コミュニティの存続さえ危ぶまれる事態となっております。

このような状況を踏まえても、豊かで魅力ある地域づくりや安心安全な地域づくりは最重要課題であります。

よって、次の点について平成25年度予算編成、並びに市政運営において格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



1. 道路整備5箇年計画策定に伴う道路整備予算の大幅確保について

土木課
財政課

市民が快適な生活を送るための重要な基盤は、安全・安心で便利な道路です。そして、市民からの要望で最も多いのが道路整備であります。

市では、平成18年3月に幹線道路網整備計画を策定し、順次整備を進めてられました。しかし、昨今は従来からの要望に加えて、消防署所の再編やスマートインターチェンジの開設に伴うアクセス道路整備、通学路の安全対策など、様々な新たな課題への対応など、緊急を要する事態が生じてきており、今後の道路整備は、短期間に集中して行う必要性が高まってきています。

このような状況の中、市では平成25年度から5年間で新規に着手すべき路線を明示する「安全・安心な道路整備5箇年計画」を策定中ではありますが、一つの節目であるとともに、合併の優遇を受けられる町村合併から10年を跨ぐこの計画に際して、市民は大きな期待を抱いているものであります。

よって、本計画の実施に係る予算は別枠として、道路整備予算の大幅な増額により、従来から自治振興会等で要望している道路整備路線の着実な進捗を図られたい。

2. 空き家等管理保全に係る条例の制定について

住民環境課

昨今は、山間部や平野部問わず空き家が増加傾向にあります。また、倒産社屋や工場等老朽化や関連物資の飛散による環境被害が発生している状況であります。それらの管理不全による防災、衛生、防犯などの危険性や生活環境の悪化など、住民生活の環境が悪化しており、その対応が急務であります。

市では、これらの状況を踏まえて、自治会や町内会、集落に対して現況調査を実施されましたが、その結果とその後の対応がどうなったのか気にかけているところでもあります。

このような問題は今後も続くものと予測されることから、高岡市や射水市のように空き家の所有者に適正な維持管理を義務付けるとともに、市が空き家の所有者に必要な措置を勧告できることなどを規定した「空き家条例」の制定に、早急に取り組まれたい。

3. 若者定住対策について

元気で活気ある南砺市の実現には若者の定住が促進され、結婚し子供が生まれることでの人口の増加が見込まれることが重要です。企業誘致の推進や婚活支援事業に取り組まれるなど、様々な施策の展開を実施のこととは存じますが、次の点も含めて更なる積極的で抜本的な対策をお願いします。

(1) 積極的な企業誘致による雇用の場の確保

(2) 産婦人科医の確保による出産環境の整備

商工課・企業誘致推進室

地域包括支援センター

4. 小型除雪機械の早急な配備への対応について

土木課 財政課

富山県下において降積雪量の多い南砺市において、「これからも住み続けたい」と思えるまちにするには克雪対策が重要です。とりわけ高齢化の進んでいる状況においての雪対策は、重労働と危険な環境にあることから、地域ぐるみでの克雪対策が重要であります。

このようなことから、各地域においてはそれぞれの環境や状況に合った雪対策を推進するため小型除雪機械の配備が進められています。新規に配備を求める地区、古くなった機械の更新を求める地区など要望は様々ではあります。11月末現在において38台の順番待ちが生じており、その早急な解消が望まれています。このまま、県単補助事業の採択を待つと配備は5年先とも言われております。

地域ぐるみ除排雪を推進する本市においては、1年でも早くよりよい環境を整備することは重要な対策であります。200億円を超える基金等を活用されて、順番待ち38台の解消を平成25・26年度で実行されたい。